

**みやぎNPO夢ファンド(C) スタートアップ支援プログラム
平成20年度助成事業 最終報告書**

書式 4

平成21年4月20日

団体名	特定非営利活動法人 ビオス
事業名	土曜学級事業
連絡担当者お名前 (ふりがな)	櫻井 靖 (さくらい やすし)
助成金を使って行った事業について、ご記入ください。 (事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください)	
実施日 20年4月より21年3月まで、毎週土曜日実施	
参加延べ児童数 4月9名、5月12名、6月14名、7月57名、8月74名、9月23名、10月18名、 11月20名、12月34名、1月31名、2月25名、3月19名 年間合計延べ児童数 336名	
<p>NPOビオスでは、毎週土曜日、留守家庭児童を中心に「土曜学級」を開校し、外国人留学生を招いての「国際交流教室」、松島町内に住むその道の達人による「その道講座」町内外の史跡、施設をめぐり、地元の歴史や産業を理解してもらうための「松島少年少女探訪隊」を実施して参りました。</p> <p>参加児童数は、ほぼ目標人数に達することはできましたが、広報のやり方次第ではもう少し多くの子供たち集めることができたのではないかと考えております。</p> <p>事業内容としては、計画通り進めて参りましたが、子供たちの希望もあり、当初計画していた「その道講座」の割合を減らし、「国際交流教室」の割合を増やしました。</p> <p>そのことにより、子供たちは、外国人・外国語を素直に受け入れてもらえることができたと思います。</p>	
	

助成金を使って行った事業について、ご記入ください。(続き)

「国際交流教室」

これまでに、中国、韓国、台湾、ウイグル、パキスタン、チュニジア、エジプト、シリア、ルーマニア、ロシア、インドネシア以上11の国や地域、延べ63名の外国人が参加されました。

写真や民族衣装を持ってきてもらい自分の国の紹介してくれたり、中国琵琶の演奏会、ウイグルの舞踊教室など、とても珍しい経験をする事ができました。

他に簡単な英語を子供たちに教えてもらいました。初めのうちは、授業形式で行っていましたが、子供たちが飽きてしまうことから、パソコンをつかったり、ゲームの中で取り入れたり、外国人の方々に工夫をしてもらいながら行う事ができました。

そしてなにより子供たちと一緒に遊んでもらうことで、子供たちが自然と簡単な英単語を話したり、間違った発音の時は、外国人の方が直してくれたりする姿は、一定の成果だと考えています。

そして、外国人に対して、物怖じしない子どもになってくれました。

また、仙台にある在日中国人の子供たちのための私設中国語学校イン華中文字学校を招いて餅つきをして「子ども国際交流」を行ったことはとても意義があったことだと思います。子供たちは国の壁を越え、遊び学んだことは将来お互いのためになったと思います。

「その道講座」

町内の交通指導隊による交通安全教室や町内に住むおばあちゃん達と一緒に料理教室、おじいちゃん達との工作教室などふれあいをテーマにした講座から民謡「えんころ節」小学生チャンピオンのミニコンサート、上記のような外国人留学生による、歌や踊りなど普段体験できないことをテーマにした講座まで行いました。

また、外国人による特別「その道講座」ということで、大学で勉強しているロボット工学の話や医学の話などわかりやすく子供たちに教えてもらいました。

「松島少年少女探訪隊」

時間がある時は、よく車で外にきました。町内の海では、蟹や小魚を釣り、山では、木の実を食べ、カナヘビや昆虫を捕りました。

初めての経験の子供たちも多く、海を日本に来て初めて見た外国人留学生なども参加して、楽しい経験ができました。

また、多賀城の体験施設「史遊館」での勾玉づくりや石ノ森萬画、細倉メインパーク、仙台市科学館などの施設見学を行いました。

広報活動につきましては、「広報まつしま7月号」への掲載、7月6日に松島町内全世帯へのチラシの新聞折り込みを実施しました。



今回の事業によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか。

私たちの行ってきた、土曜学級は、毎週のようにたくさんの外国人にきていただき、国際観光の町にふさわしい取り組みであったと思います。子供たちが外国人に自分の意思を伝えようとする姿にとっても感動を覚えました。

学級に通ってくれた子供たちは、肌の色や言葉が違って物怖じすることなく声を掛けることができるようになり、イスラムなどの日本とは違う文化についても、違いを認め外国文化を尊重する心が育ったと思います。

私たちの児童学級の活動は、高学年の子供たちや障害のある子供たちも受け入れ、保育時間についても町内や近隣の他の児童学級よりも延長してきました。そのことは、近隣の市町村にも評判となり、他町村からも子供たちを受け入れることができました。行政の枠を垣根を越えた、NPOならではの活動ができたと思います。

まさに民間力を活かし、臨機応変に対応を行い、必要な人に必要なサービスを提供できたことは、大きな成果であったと思います。

今回の助成事業を行って見えてきた課題は何ですか。

また、その課題解決に向けて必要なものは何ですか。

当初は、国際交流活動を目的とした児童学級のつもりでしたが、一年間土曜児童学級をしてきて、私たちの活動は、働く保護者さん達の駆け込み寺であったと思います。

「障害のある子が高学年であるために受け入れてもらえない」「お迎えの時間が遅いために児童学級に入れられない」「土曜や長期休み期間は児童学級が休みだ」「過疎地域のため一緒に遊ぶ子どもがいない」など抱えている問題は様々です。

決して多くはないけれど、行政では対応しきれないことがあります。私たちNPOは、その受け皿となっていけると思っています。いえ、ならなければなりません。

この春より、今まで使っていた町の建物が使えなくなり、町に資金援助をお願いしてきましたが、それもできないと結論が出ました。資金難等の問題で今までのような活動はできなくなりました。

しかし、これからも困った親御さんの話しに耳を傾け、形は変わりますが、我々民間でできることをしていきたいと考えています。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。

また、その際に必要なものは何ですか。

行政の方針で、今まで通りの活動はできなくなりましたが、一年間やってきたお陰で、様々な経験をつくことができました。

多くの外国人留学生、支援していただいた方々や地域の人達としっかりとつながりを持つことができました。貴重な財産ができたと思います

これからは、それらの財産を有効に活用をし、形は多少変わりますが、いろいろな問題を抱えている子供たちと保護者の皆さんのため、通年学級は無理でも土曜学級の継続の道を考えて行きたいと思います。

また、子供たちと外国人留学生との交流等については、機会を設け餅つき大会や季節の行事を企画して行って参ります。

今まで道理、今後も行政に頼らず、自分たちの手でできる人をしっかりとやっていきます。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	200,000	200,000	
保育料	120,000	168,000	500円×336名
自己負担金	70,000	26,967	年会費
寄付金	20,000	0	
合計	410,000	394,967	

支出の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
国際交流教室支出金	216,000	247,000	外国人延べ63名分
交通費	60,000	34,223	ガソリン代
謝礼	36,000	0	町内の方は無料に 外国人は国際交流 支出金に含まれて います。
光熱費	48,000	21,174	灯油、ガス30%按分
消耗費	50,000	40,320	児童おやつ代、教材費 1回120円×336名
会場使用料	0	52,250	会場使用料の6分 1（町の減免にな りませんでした）
合計	410,000	394,967	

寄付をいただいた方へのメッセージをどうぞ

この度は助成金をいただきありがとうございました。目に見えた成果を上げることは
できませんでしたが、様々な問題点知ることができ、今後の活動に活かして行きたいと
思います。

行政では見過ごされがちな問題に正面から向き合い、NPOならではの活動をして参
ります。現在、役員会などで今後の活動をどうするか思案中ですが、いずれ結実したご
報告をさせていただきます。

本当にありがとうございました。